



2020年8月3日

各 位

会社名 大和工業株式会社
 代表者名 取締役社長 小林 幹生
 (コード番号: 5444 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役 米澤 和己
 (TEL 079-273-1061)

業績予想の修正に関するお知らせ

2020年6月19日に公表いたしました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	76,000	4,500	8,000	△ 1,000	△ 14.95
今回修正予想(B)	83,000	6,000	11,500	800	11.96
増減額(B-A)	7,000	1,500	3,500	1,800	
増減率(%)	9.2	33.3	43.8	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	98,602	6,967	14,830	10,096	150.95

2. 2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	115,000	5,500	10,500	0	0.00
今回修正予想(B)	125,000	8,000	17,000	4,000	59.80
増減額(B-A)	10,000	2,500	6,500	4,000	
増減率(%)	8.7	45.5	61.9	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	181,964	11,333	23,125	14,762	220.72

3. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症拡大による影響として、短期的には建設現場・鋼材加工を行うファブリーケーターの稼働率低下や輸送の停滞があり、長期的には建設・土木プロジェクトの延期や中止による鋼材消費の落ち込みが考えられます。加えて、消費の落ち込みによる経済の停滞につきましても、その影響が長引くものと思われることから、鋼材需要が2021年3月期中に2020年3月期の水準まで回復することは困難との見通しに変化はございません。

一方で、国・地域によっては、その影響度合いが想定よりも軽減される、若しくは、影響の時期が先送りされる見通しとなっております。

以上より、第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、売上高83,000百万円(前回予想比7,000百万円増)、営業利益6,000百万円(前回予想比1,500百万円増)、経常利益11,500百万円(前回予想比3,500百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益800百万円(前回予想は親会社株主に帰属する四半期純損失1,000百万円)にそれぞれ修正いたします。

また、通期連結業績予想につきましては、売上高125,000百万円(前回予想比10,000百万円増)、営業利益8,000百万円(前回予想比2,500百万円増)、経常利益17,000百万円(前回予想比6,500百万円増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,000百万円(前回予想比4,000百万円増)にそれぞれ修正いたします。

(注)業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上